

カメムシの発生は、滝川でやや多発傾向！
ダラダラ発生している事から、要注意！

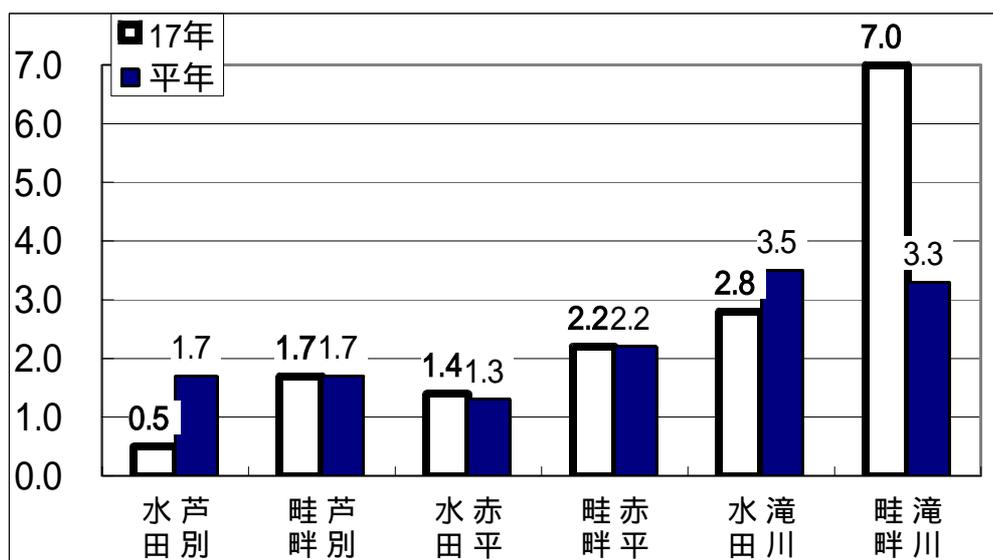
J A たきかわ 営農部
空知東部地区農業改良普及センター

カメムシの発生状況 - 滝川でやや多い

表 - 1 カメムシ捕獲状況 (7 / 2 6 関係機関調査)

	芦 別 市		赤 平 市		滝 川 市	
	水田内	畦 畔	水田内	畦 畔	水田内	畦 畔
H17年	0.5頭	1.7頭	1.4頭	2.2頭	2.8頭	7.0頭
平年値	1.7	1.7	1.3	2.2	3.5	3.3

20回振り
当たり平均
頭数



カメムシの発生は、地域間、ほ場間での発生量の差が大きくなっています。また、第2世代のピーク時期にも関わらず幼虫も捕獲される事から、発生がダラついています。各自で発生予察を行いながら、適期・適量防除を実施しましょう。

カメムシ対策 出穂期～揃いの防除適期を逃さない！

各ほ場の出穂状況を確認して、出穂期～揃いに殺虫・殺菌剤の防除を実施しましょう。

防除後5日目にカメムシの発生予察を行い、20回振り当たり：2頭以上（ほしのゆめ：1頭以上）の場合は、2、3日後に直ちに防除を行います！

出穂・開花の揃いが悪いと登熟のバラツキが大きくなり、加害期間が伸びるので、予察に応じた防除も延長しましょう！